

災害を知る

大雪や猛吹雪 → 雪害

雪害への備え

大雪や猛吹雪の際には、視界不良などによる自動車の多重衝突や、深い雪による立ち往生などが発生しやすくなります。気象情報をチェックし、雪に伴う警報や注意報が発表されたときは、外出を控えるようにしましょう。

また、着雪や強風などによって電線が切れるなどして突然停電になることがあります。冬季の停電時には明かりと食事に加えて防寒対策が欠かせません。非常用電源の確保に加えて、照明と調理用燃料や防寒用品を備えておきましょう。◀備蓄品は9ページをチェック▶

!
暴風雪時は
外出を控えること
が重要です

大雪注意報	大雪警報	風雪注意報	暴風雪警報
降雪の深さ 30cm/12時間 の降雪	降雪の深さ 50cm/12時間 の降雪	平均風速 11m/秒 (雪による視程障害を伴う)	平均風速 16m/秒 (雪による視程障害を伴う)

大雪・暴風雪発生時の行動とポイント

やむを得ず車で外出するときには

天候の急変などにより、車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認して出かけましょう。また、万に備えて、飲料水や非常食、カイロなども用意しておく安心です。



歩行中や屋外作業中、運転時には

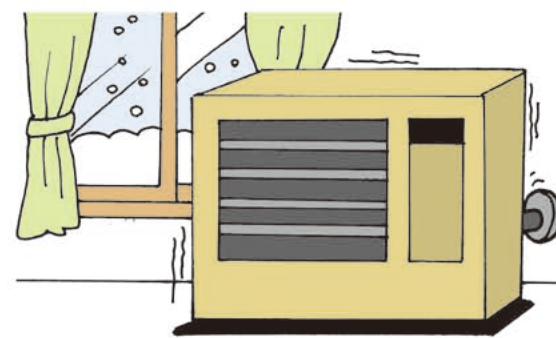
視界不良(ホワイトアウト)により、方向感覚がなくなり、自分の位置が分からなくなることがあるため、近くの商店やコンビニ、人家などの安全な場所へ避難し、天候の回復を待ちましょう。気象情報や道路情報も確認しましょう。暴風による飛来物にも注意が必要です。



家の中にいるとき

FF式暖房機などの給排気口が吹きだまりでふさがれると一酸化炭素中毒を起こす可能性があるため、給排気口を確認しましょう。

また、玄関が雪でふさがれて開かなくなることがあるので、吹きだまりの状況を見て除雪しておきましょう。



停電になったとき

停電時は暖房がつかえなくなるため、電気が無くても使えるポータブル灯油ストーブや毛布、カイロなどを活用し防寒対策を行いましょう。

また、懐中電灯などの照明や調理のための燃料を備えておきましょう。



Topics 1

車内で救助を待つ場合は、排気ガスによる一酸化炭素中毒や低体温症に注意!

- 原則エンジンは停止し、防寒着や毛布で体温の低下を防ぐ。
- 一酸化炭素中毒を防ぐため、車が雪に深く埋もれた時にエンジンをかけ続けない。
- 止むを得ずエンジンをかける場合は、給排管出口が埋もれないよう定期的に確認する。
- 窓を開けていても風向きなどにより一酸化炭素中毒のおそれがあるので、安心しない。



災害を知る

地震

余市町の過去100年間で大きな揺れが観測された地震は、平成15年(2003年)十勝沖地震、平成30年北海道胆振東部地震で、震度4が2回記録されています。しかし、国や北海道によって将来想定されている地震では、さらに大きな揺れが予測されています。また、地震による津波のおそれもあります。有感地震が少ない余市町では、家具固定などの必要性を実感する機会が少ないため、自ら意識して備えをしておくことが大切です。家屋の倒壊や家具の転倒によって命を失ったりケガをしたりすることのないよう、日頃から備えておきましょう。

揺れの強さ

揺れの強さは震度で表されます。各震度の強さを知り、地震が起きたときの行動を確認しましょう。

震度3	震度4	震度5弱	震度5強
屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。	ほとんどの人が揺れに驚く。	大半の人が恐怖を覚え、物につかまらなさと感じる。	物につかまらなさと歩くことが難しい。落下物が増える。
震度6弱	震度6強	震度7	
立っていることが困難になり、固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	はわないと動けず、固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	

新しい緊急地震速報(長周期地震動階級の予想も追加して発表)

資料提供 気象庁ホームページ

緊急地震速報(警報)はこんな時に発表します!

発表条件	震度5弱以上を予想した場合 または 長周期地震動階級3以上を予想した場合	※長周期地震動階級の追加は2023年2月以降
対象地域	震度4以上を予想した地域 または 長周期地震動階級3以上を予想した地域	

最大震度5弱以上を予想した場合に加え、長周期地震動階級3以上を予想した場合にも緊急地震速報(警報)を発表します

長周期地震動階級の基準だけで発表することはまれですが、人命に係る重大な災害が起こるおそれがあるため、警報の基準に追加しています。ガタガタという強い揺れ(大きな震度)でも、ゆらゆらというゆっくりとした大きな揺れ(長周期地震動)でも**とるべき行動に違いはありません。**

猶予時間が限られることから、緊急地震速報を見聞きしたら**まずは身を守る行動**をとり、揺れが収まるまで行動を続けましょう。

長周期地震動とは

大きな地震で生じる周期の長いゆっくりとした大きな揺れを長周期地震動といいます。震源から数百km離れたところでも、高層ビルを長時間にわたって大きく揺らすことがあります。



階級	揺れの状況
4	●立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。 ●キャスター付き家具等が大きく動き、転倒するものがある。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
3	●立っていることが困難になる。 ●キャスター付き家具等が大きく動く。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
2	●室内で大きな揺れを感じ、物につかまらなさと感じる。 ●物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。 ●キャスター付き家具等がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。
1	●室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。 ●ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。

どんなことが起こるの?

- 高いビルでは、長周期地震動による大きな揺れにより、家具類が倒れたり・落ちたり・移動したりします。
- 天井の落下、スプリンクラーの故障、エレベータの障害などが過去の地震で実際におきています。
- 2011年の東北地方太平洋沖地震のときには、地震の発生場所から遠く離れた東京でも高いビルが大きく揺れ、被害が発生しました。

リンク https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/eew202301/eew_202301.pdf

- 緊急地震速報は、地震の発生直後に得られた観測データを元に各地の揺れの強さを速やかに予測し、可能な限り素早く知らせるものです。
- 震度5弱以上を予想した場合または、長周期地震動階級3以上を予想した場合に、震度4以上を予想した地域または長周期地震動階級3以上を予想した地域に緊急地震速報(警報)が発表されます。
- 情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が**数秒から数十秒**しかないので、すみやかに身の安全を確保することが大切です。